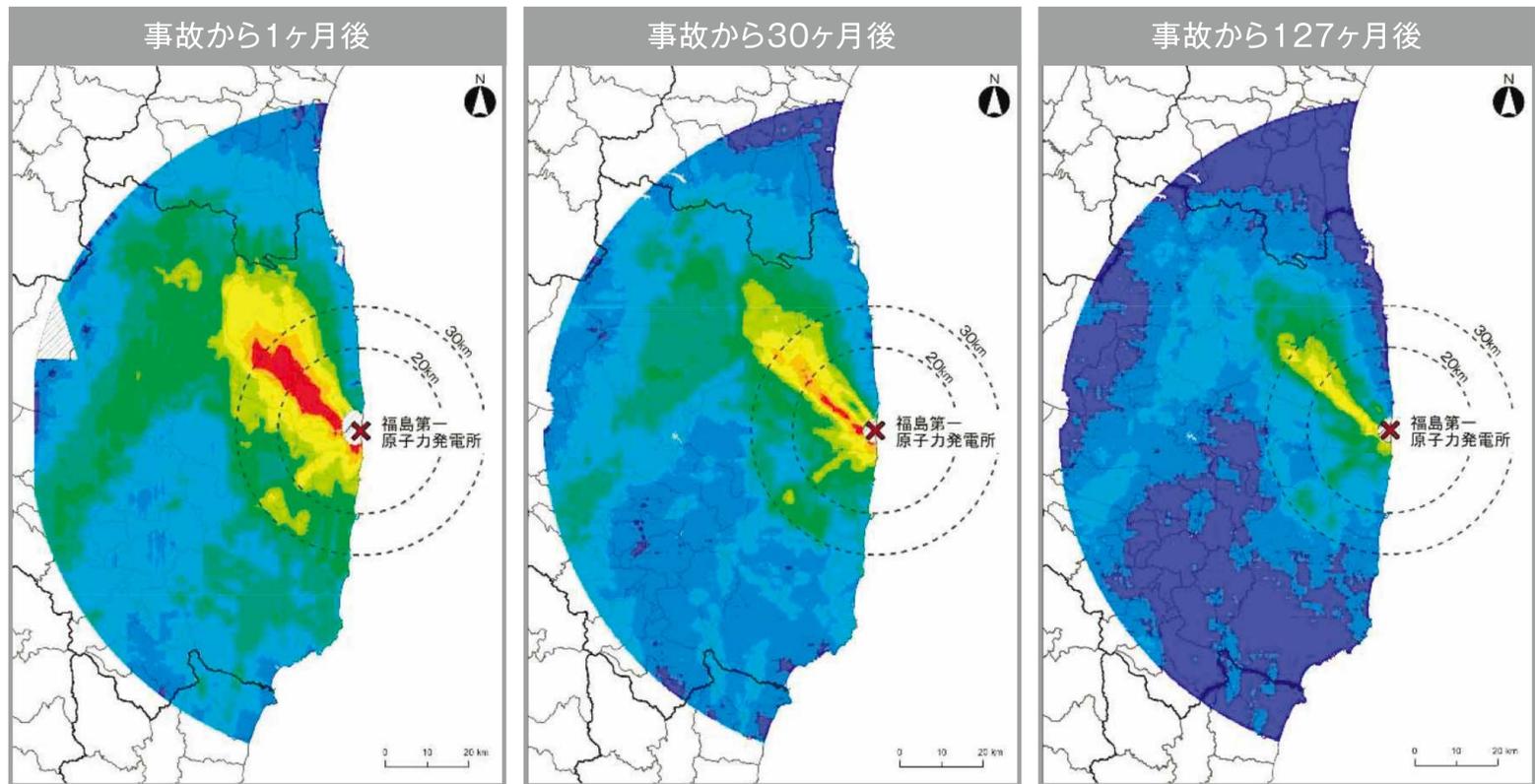


空間線量率の低下

時間の経過や除染作業の進捗により、福島県内の空間線量率は低下してきています。

東京電力福島第一原子力発電所から半径80km圏内の空間線量率の推移



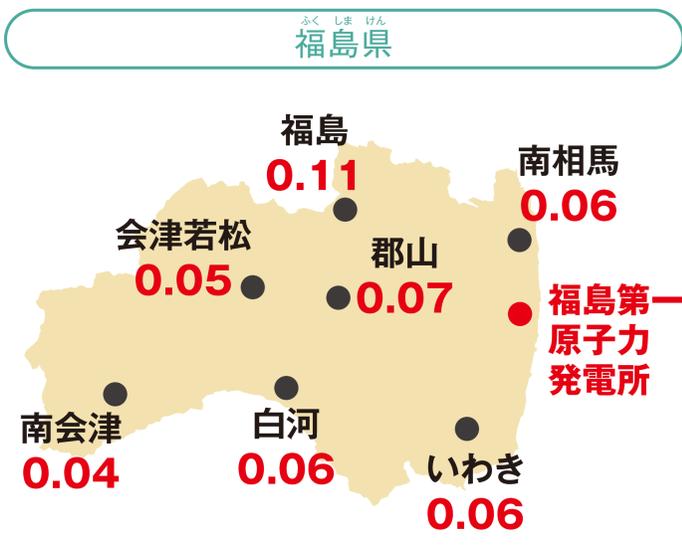
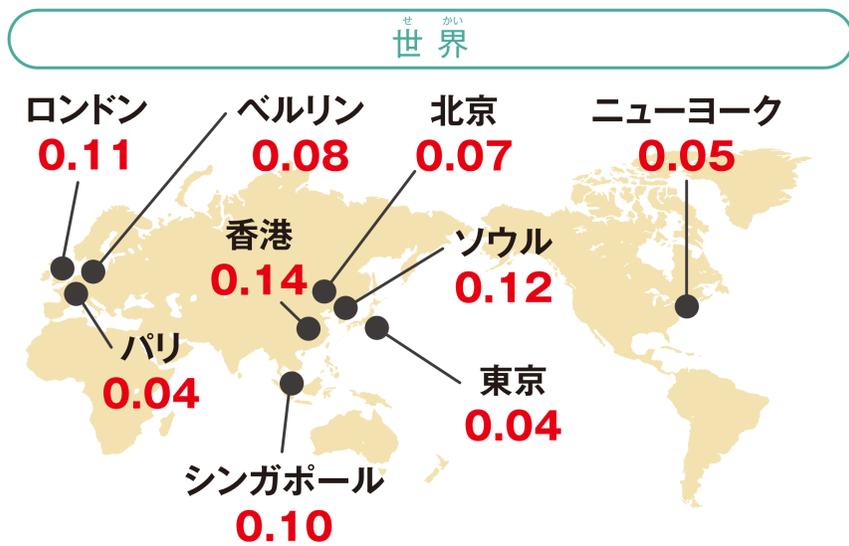
凡例 地表面から1mの高さの空間線量率(μSv/h)



出典:「東京電力福島第一原子力発電所周辺の航空機モニタリング」(原子力規制委員会) (<https://radioactivity.nra.go.jp/ja/list/362/list-1.html>) をもとに復興庁作成

世界と福島県の空間線量率の比較

福島県内の空間線量率は、日本の他の都市や世界の国々と比較しても大きな差はありません。



高自然放射線の地域例
ケララ(インド) 1.05
出典:UNSCEAR2008年報告

パリ:平成29年10月15日
ロンドン:平成30年1月24日
ニューヨーク:平成31年1月18日
北京・ソウル:令和元年9月24日
シンガポール:令和元年9月26日
ベルリン・香港:令和元年9月27日
東京:令和5年9月の平均値

令和5年9月の平均値

単位:マイクロシーベルト/時

出典:日本政府観光局、原子力規制委員会「放射線モニタリング情報共有・公表システム」、福島県災害対策本部(暫定値)をもとに復興庁作成